

令和5年度第6回さぬき市男女共同参画推進協議会 会議要旨

- 1 日 時 令和6年3月7日（木）14：00～16：00
- 2 場 所 さぬき市役所本庁2階会議室
- 3 出席者 **【委員】** 石田委員、尾崎委員、柿木委員、檜原委員、金子委員、川地委員、黒澤委員、小松委員、多田委員、筒井委員、六車委員
- 【事務局】** 山下市民部長 山田課長 田村副主幹 山本主任主事
株式会社 ぎょうせい（委託業者）
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議次第
- 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 議事
 - (1) 第3次男女共同参画プラン策定について
 - (2) 令和5年度事業報告について
 - (3) 令和6年度事業予定について
 - (4) その他
 - 4 閉会
- 6 配布資料
- 資料1 第3次さぬき市男女共同参画プラン-案-
- 資料2 令和5年度 男女共同参画推進事業実績
- 資料3 令和6年度 男女共同参画推進事業予定 ほか

7 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
	< 開 会 > (14:00)
事務局	ただ今から令和5年度第6回さぬき市男女共同参画推進協議会を開会します。はじめに、さぬき市男女共同参画推進協議会 黒澤会長からあいさつ申し上げます。
	<会長あいさつ>
事務局	会議の進行は、さぬき市男女共同参画推進協議会規則に基づき、黒澤会長にお願いいたします。
会長	まず、会議の公開についてです。本会議は「附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針」に基づき、「原則公開」となっています。非公開の案件がない限り、公開とすることとします。まず、傍聴申請について、人権推進課長から報告してください。
事務局	現在のところ、傍聴希望はありません。

会長	今のところ傍聴の希望はありませんが、会議途中で傍聴希望があった場合には、随時許可することとします。
会長	はじめに、本日の会議についてです。会議時間はおおむね1時間半～2時間程度を予定しております。スムーズな進行にご協力をお願いします。本日、議事（1）において説明を聞くため、第3次さぬき市男女共同参画プラン策定支援業務に関する委託事業者「株式会社ぎょうせい四国支社」担当者に出席を求めています。 <担当者挨拶>
会長	では、議事（1）「第3次男女共同参画プラン策定について」に入ります。本日は、プラン本文について前回の協議内容を基に修正した箇所についてご説明し、皆さんに意見交換いただこうと思います。事務局から説明をお願いします。
事務局	<説明> ・修正箇所説明 ・53 ページ本文の3行目「女性が尊厳と誇りを持って生きられる社会の実現」の「女性が」を「誰もが」という表現に変更することの提案
会長	今の説明について、質問や意見はありませんか。
委員	気になったところが複数箇所あったので、指摘する。1ページの「※3」については、改行せず「※3」を1行にまとめた方がよい。20ページのひとり親家庭の状況については、ここでは20歳未満となっているが、成人年齢は18歳であるがどうか。23ページの「男性は年齢が上がるほど肯定的に考える」については、この言い方だと事実を良く捉えているように見えるため、誤解を生むのではないか。27ページに「LGBT（セクシュアルマイノリティ）」という表現が複数あるが、一般的にかっこ内の言葉は最初のみに入れ後は省略すると思うので、すべてにかっこ書きがあるのは煩わしく見えるのではないだろうか。29ページの「とった働き方」は「といった働き方」の誤りだと思う。33ページの今後の課題について、ここで「敷居の高さ」という表現を使っていることを奇異に感じる。38ページの「無意識の偏ったものの見方、思い込み（アンコンシャス・バイアス）」は「無意識の偏ったものの見方、アンコンシャス・バイアス（思い込み）」という表記がよいように思う。40ページの基本目標のレイアウトは左揃えにした方がよい。
会長	今の意見について説明をお願いします。
事務局	20ページについては、国勢調査においてこのような表現をしているものです。23ページについては、「そう思うと答えた人が多い」となどという表現に修正します。29ページについても修正します。40ページについては見やすいように工夫したいと思います。その他の部分についても協議検討したいと思います。
委員	26ページの今後の課題3番目にある「見据えた」は「見据え」の方がよいのではないかと。
事務局	承知しました。
会長	ほかにありますか。ジェンダー・ギャップ指数については、前回、委員からリストの掲載国を増やしたらどうか、と意見がありました。今回の反映についてはどう思いますか。

委員	データが充実しており、感謝する。13 ページの将来推計人口について、「年少人口及び高齢者人口は、緩やかな減少で推移」とあるが、高齢者人口は「減少」でよいのか。
事務局	資料1のグラフは幅を縮小しているので横ばいのように見えますが、実際には減少しています。生産年齢人口は急激に減少し、高齢者人口は少しずつ減少する流れとなっています。より分かりやすくなるよう工夫したいと思います。
委員	生産年齢や年少人口の減少についての文脈の中で、高齢者人口の減少について述べることはおかしいように感じる。
委員	2060年頃になると、ボリュームゾーンである高齢者人口が大きく減少する。高齢者がいるから人口が保たれているイメージなので、そういう傾向が出てくるのではないか。
委員	そういう傾向がある、ということも入れたらよいと思う。
委員	とはいっても、これは推計なので断言はできない。将来はもっと人口が減少するかもしれないし、子どもがたくさん生まれる可能性もある。
会長	グラフ表記についてページの関係もありますが、分かりやすくなるよう工夫をお願いします。
委員	16 ページに「本市の女性の就業率は、香川県や国の平均を大きく上回っています」とあるが、市としての評価を聞きたい。
事務局	例えばさぬき市の30代女性の就業率は、国を10%以上上回っています。これは大きい差です。また香川県を5%以上上回っています。共働き世帯が多いということが考えられると思います。
委員	これはさぬき市の特徴にはならないか。
事務局	特徴であると思います。
委員	就業しているから裕福だ、というわけではない。東讃エリアでは、働かないと生活できないから働いている、という実情があるのではないか。働かないと子どもの学費を払えない状況もあるのではないか。
委員	現実はどうかもしれない。だが、プラス面でみると、就業率が高いというのは、女性も社会参加できている、とも言えるのではないか。
委員	雇用には正規、非正規の問題がある。男性の就業率は、このプランでは比べていない。
事務局	女性の就業率に着目しているため、男性との比較を入れていません。
会長	ほかに質問や意見はありませんか。事務局から提案のあった53ページの表現についてはどう思いますか。
委員	いいと思う。55ページの「※性別に関係なく相談可能です。」は、これでは弱い

	<p>気がする。注釈は下に入れるものかもしれないが、上の方に入れて、誰でも相談できるというふうに表した方がずっと入る気がする。大事なことは最初に記載されている方がよい。</p>
委員	<p>11、12、13 ページは人口について書かれているが、起点の年度が違う。11、12 ページは 2018、2019 年、13 ページは 2000 年となっている。傾向を読む意味では十分だが、全てを同じように見られる工夫がほしい。13 ページの将来推計人口のグラフについては、2000 年からあった方がよい。そして 2000～2023 年までは大まかな表記で、それ以降は、例えば 5 年単位で細かく表記するといった工夫等があるとよい。11 ページの人口・世帯数の動きについて、この書き方だと「2018（平成 30）年から減少しています」とあるが、2018 年以前から減少しているのに、2018 年に人口減に転じたような印象を受ける。</p>
会長	<p>11 ページの表現について、再度検討してください。</p>
事務局	<p>11、12 ページ及び 13 ページの上のグラフは住民基本台帳のデータを使い、13 ページ下のグラフは国立社会保障人口問題研究所のデータです。こちらは国勢調査がベースとなっています。国勢調査は 5 年に一度、住民基本台帳は毎年のデータとなっています。そもそものデータの出典が異なります。13 ページ下のグラフは、あくまでも参考資料として見てもらえたらと思います。また、11 ページについては、「2018 年を起点とすると、減少しています」といった表現に修正すると分かりやすくなるかと思います。</p>
委員	<p>生産年齢人口は現在「15～64 歳」としているが、将来は 70 歳までになるかもしれない。</p>
会長	<p>変わってくるかもしれませんがね。事務局から出たジェンダー・ギャップ指数と 13 ページの将来推計人口の修正についてはよいでしょうか。</p>
委員	<p><異議なし></p>
会長	<p>ほかにも計画案について、意見を伺いたいと思います。</p>
委員	<p>おそらく次の第 4 次プランでは、日本人の男女や L G B T のテーマに加えて、多国籍の人とどう共存するかというテーマが入ってくる。技能実習制度が見直される。現在、技能実習を 3 年したら特定技能に移ることができるが、今後は現在の技能実習を特定技能として実施し、現在の特定技能には新しい制度を入れ無制限となるので、制度改正により日本に暮らす外国人の数が増える。また技能実習は、就労場所が限定されているが、特定技能にはそういう縛りがないので、条件次第では移動もある。さぬき市には外国人が何百人といるが、今後は一桁増えるかもしれない。人権の観点に留まらない話もあるかもしれないが。</p>
事務局	<p>この協議会は男女共同参画についてですが、今後さぬき市に暮らす外国人の方がますます増えることが想定できると思います。共生社会については、大きな枠組で捉える必要があり、外国人の人権や多文化共生の担当は人権推進課ですが、全庁的に議論の場を検討していかないといけないと思っています。</p>
委員	<p>国の指針も当然出てくると思う。</p>
委員	<p>外国人の労働者について、採用人数の 1/3 が辞めたという事業所もある。辞めた</p>

	<p>人は、ネットワークを使ってもっとよい条件の事業所へ移ったようだ。技能実習生と違い、特定技能は移動可能だからだ。徐々に時代が変わるので、いずれそういうテーマについて話し合えるようになるといいなと思う。</p>
委員	<p>43 ページに多文化共生への理解促進という取組がある。</p>
委員	<p>給料だけを見るのであれば、北海道のニセコ町や熊本県が魅力的だと思う。さぬき市にも多くの外国の方に来てほしい。いろいろ文化交流をするのが好きなので、互いに交流できる場があるとよい。日本人住民にとっても刺激となり、考え方が広がることもある。知らないことを知ることも大事だし、楽しいことだと思う。</p> <p>私は、男女共同参画推進協議会代表という形で、今月、人権擁護審議会に出る予定だ。今まで何回か出ていながら、ここでの話を伝えることができていなかったことを反省し、このまま終わっていいのかと思った。人権擁護審議会は男女共同参画だけでなく、マイノリティ、国籍、人権・同和問題等、人権のいろいろな課題が含まれる。その審議会で周知してもらいたいことや検討してもらいたいことなどあれば、伝えないといけないと気付いたので伺いたい。この場でなくても、後でもよいので声を掛けてもらいたい。今回の計画案には賛成である。</p>
委員	<p>基本目標2基本方針の4、5について、具体的にどういったことができるかを一緒に考えていきたいと思う。まず人材不足についてである。先ほどのグラフでは、さぬき市は就業率が高いとあったが、全国的に見ると、製造業は人材不足で苦しい面がいろいろとある。しかし人材不足という一方で、時代の流れでAIや自動化が進んでおり、指示の必要な仕事はAIに任せたらよい、となってきた。では人が何をしなければならぬかという、指示を出さなくても自主的にやる、新しいものを創造する仕事だ。そういうことをしていかなないと生き残れない。私の会社では、その両立を労働組合と一緒に取り組んでいる状況だ。会社では女性活躍のみならず、外国人、障害者の活躍も推進している。香川県を引っ張っていけるような活動をしていきたいと思っている。</p>
会長	<p>女性活躍にも力を入れているのですね。</p>
委員	<p>力を入れているが、まだまだだと思っている。私は労働組合の立場なので、労使一体となってやっていきたい。</p>
委員	<p>13 ページが気になっている。市内の小学校では児童の人数が減っており、もう少ししたら、長尾小学校と志度小学校以外は1学級ばかりになる。0歳から4歳の人口を見ると、さらに人数が減る。子どもの急激な減少を学校現場でも実感している。人権教育や男女共同参画に関わることもそうだが、子どもたちが学校で学んだことを家に持ち帰り家族で話すことで広がっていく。これが学校の大きな役割だと思っている。今回関わって、勉強させてもらい有り難い。学校にできることを考え、広げていくことをしていきたい。</p>
委員	<p>55 ページDV被害者の自己決定を支援するためのフロー図には、いろいろな機関が記載されている。計画案に記載されている機関のアクセス一覧、問い合わせ先一覧が計画案の最後にあると、親切だと思う。</p>
事務局	<p>概要版に相談機関の電話番号等を掲載予定です。</p>
委員	<p>先日、20、30代の人への調査で50パーセントの人が「子どもを持つことは考えていない」と回答したそうだ。また昨年の出生者数は激減している。これは根深い</p>

委員	<p>問題だ。今の仕組を見て絶望しているのか、世代が変わったということなのか。さぬき市でも中学生にアンケート調査をしたとき、結婚についてもあえては望まない、ということだったと思う。この会議に参加して、そういう根本の問題から着手すべきではないかと思った。</p> <p>立派なプランができたと思う。計画をいかに実行していくかが大きな課題になってくる。男女共同参画が日常生活に溶け込むような雰囲気になったらよいな、と思う。男女共同参画、男女平等を実感できるまで進められたらよい。昨日、市議会の本会議で、防災における男女共同参画、例えばさぬき市の防災会議の女性委員の割合、防災士の女性割合などについての質問があった。市長は答弁の中で、協議をもとにした第3次男女共同参画プランができつつあると話していた。計画があること自体をもっと市民にPRしていかないといけない。計画を作って終わり、市民は何も知らないという状況はいけないと思うので、PR活動もよろしくお願ひしたい。</p>
会長	<p>今回、基本方針に防災の項目が入ったということは、市としてもより力を入れて取り組んでいくということですね。一つ前進だと思うので、委員一人一人にも市の広報パーソンとして取り組んでもらえるといいな、と思っています。</p>
委員	<p>時間を長くにとって検討できたことはよいのだが、学校教育課や生涯学習課、幼保こども園課が取り組む内容は全体からの視点で、子どもや保護者の視点ではない。例えば45ページの性の多様性の尊重について、幼保こども園課の主な取組に「多様な性に関する研修等への参加促進」と一般的な事柄が書いてある。幼保こども園課なら何をすればよいのか、もう少し分かりやすい言葉がないだろうかと思った。44ページの主要施策3自分らしく生きる教育の推進でも、全体的に大まかな感じだ。もう少し保護者にも分かるような形の施策が考えられるとよいと思った。</p>
会長	<p>今回、性の多様性に関する項目も新しく入りました。先ほど、学校現場で学んだことを家庭に広げていけるようにという委員発言もありました。大まかな書き方ということは、逆にいろいろな形の取組を現場で実践的にできるということでもあるかと思ひます。市民と学校現場が協働していく形がよいと思ひます。新しく入った項目に関しては、皆で確認し合っけていけたらと考えています。</p>
委員	<p>近所に外国人留学生の宿舎がある。交通マナーが守れておらず、横断歩道の渡り方も知らないようだ。日本の生活習慣を教える機関があると、意思疎通もできるようになるのでは、と思った。</p>
委員	<p>技能実習生等は、入国段階で交通ルールの講義を受けるが、留学生がどうかまではわからない。外国人が増えていくと、自治会をどうするかという課題も出てくる。外国人に自治会のルールに沿った生活をしてもらうのか、もらわないのか。ある人から、所属する自治会に「会を抜きたい」と伝えたところ「それならごみを捨ててはいけない」と言われたことについて見解を聞かせてほしい、と言われたことがある。難しい話だと思った。自治会に入っていないなくてもステーションにごみを捨てられるとなると、ほかにも退会する人が出てくることになり、收拾がつかなくなるのではないかと、とも思う。日本人でも全国的に自治会は面倒くさいと感じる人が増えている。難しい世の中になってきた。自分は自分で生きていく、市民サービスは受けて当然、なぜ自治会に入って近所のために何かしないといけないのだ、という人がいる中で、行政がどのように広報、周知をしていくか。各々の主張がある中で、その一つでも無視したら「行政はどう思っているのか」と言われる時代だ。とはいえ、全て取り入れるとなると施策は決まらない。よく吟味して、どう取り組むかが大きなテーマになると思う。</p>

委員	<p>自治会は外国人だけでなく、転入してきた若い世代のほとんどが入らないということも課題となっている。子ども会活動から取組を進めていくこともできるだろうが、今後そういう人をどのようにうまく巻き込んでいくか。自治会加入は強制でなく任意だが、実際に災害が起きたときにどうするか。助け合わないといけないということをおぼえてもらいたいと思っている。また、ごみ捨てや交通マナー等は、国が違くと習慣が違ふ。台湾やベトナムに行ったときの経験を通して、国民性の違いを感じた。私たちは気が付いたら、身振り手振りでもよいので、伝えることが大事だ。そこから外国人との交流も生まれる。言葉が通じなくても伝えようとすると必ず伝わるので、陰でひそひそ言うのではなく、根気が必要だが伝えないといけない。</p>
委員	<p>6回の協議を終えて、これからプランを推進していくことになる。63 ページ以降には推進体制や数値目標がある。講演会や講座の開催は簡単だが、意識の問題が難しい。22 ページに男女平等意識についてのアンケート調査結果があり、10 年前の調査と比べた結果が記載されている。数値目標の表面だけでは絶対良くなる。一つのことをするとき、ハード面とソフト面を合体させて、どうしたら意識の向上が図れるかを考えることが大事だ。例えばアンケート自体が啓発の一つになるようなものでないといけない。調査して実態をつかむだけでなく、市の取組を知ってもらい、協力しようと思ってもらえるようなところがないといけない。</p>
委員	<p>外国人の交通マナーの話について、自転車の罰則強化というニュースを見た。法律なので「知らない」は通用せず、違反すれば即罰金刑等になる。周知するのは警察なのか、行政がするのかはあるが、日本に来たけれど何も分からないという人に周知することも考えないといけないと思う。私も若い世代の子どもに対する意識についてのニュースを見た。「子どもを持たなくていい」と回答したのは、30 代男性の約 51 パーセント、女性の 47 パーセントだった。東京 23 区内に住む子ども 1 人の夫婦は、共働きでやっとの生活をしている、今の賃金では難しいので 2 人目は諦めるという話をしていた。さぬき市は共働きが多いとのことだが、なぜ多いのかを考えないといけない。また、さぬき市で住んで一番困ることは「自分のやりたい仕事が無い、働く場所が少ない」だ。さぬき市や香川県から都会へ行くと、仕事の選択肢が増える。自分のしたい仕事があるかないかは一つの問題になる。全体を見て、マイノリティ、力の弱いところに視線を向けて援助することを考えないといけないと思う。</p>
委員	<p>県外に進学した学生が香川県に帰ってこないことについて、地元に残る選択もある、という授業を高校生に行うにあたってのカリキュラム作成に参画したことがある。確かに都会とは賃金差があるが、生涯貯蓄額は変わらない。「都市部へ行ったらバラ色」という感覚を持つかもしれないが、都会は生活コストが高い。東京等の関東圏では、マンション価格が 1 億円を超えたそうだ。そういったことを分かった上でどういう選択をするかを伝えるべきではないかと思う。働く場所がない、ということについては、経営者の一人として申し訳なく思う。ただ香川県やさぬき市に人材が十分という企業はない。人材不足と、働く場所がないという思いとのギャップがあって悩ましい。また、近年、生活保護受給者が増加する一方で、人材は足りないという事実を俯瞰してみると、どうなっているのかと思う。国が男女共同参画推進を謳っていても、政治家には譲れない部分があるのだろう。夫婦別姓が通らないこともそうだ。ボトムアップで盛り上げて、国政レベルで変わっていかないと何も変わらないのではないか。または相当革新的なリーダーが出て実行すれば、流れはできるような気がする。アンケート調査について、日本人は圧倒的に性善説なので、質問も「これはよいと思いますか」という形式だ。しかし自分の会社での実</p>

委員	<p>体験を通じて、少し性悪説の切り口の設問を入れるなど工夫すると、違った見え方が出てくると思う。</p> <p>高松のとある小学校では、保護者の共働き率が高く、女性も正社員が多いので、朝7時前から学校の前に車が並んでおり、正門を早く開けてほしいという状況のようである。職場が遠いと、それくらいの時間に出ないと間に合わない。子どもを一人で家に置いておくわけにもいかない。PTA総会でも大きな議論となっているそうだ。さぬき市はそこまでではないが、女性が子育ても仕事も、となってくると、しわ寄せが幼い子どもに行き、負荷がかかる。2、3日前、大阪の学校では朝7時前に開門することを決めたというニュースを見た。公的な機関はいろいろと正念場に入ると思う。私自身、高松からさぬき市へ来たとき、仕事が本当に少なくて驚いた。</p> <p>外国人労働者について思いを馳せてみると、人生の半分の時間をアメリカやカナダといった海外で過ごしている私の兄もいろいろな偏見をぶつけられていると思った。兄のことを思うと、外国人労働者も楽しく暮らしてほしいと思う。今、兄とは時差を考えなければ、電話やLINEでつながることができる。世界は狭くなった。兄の給料を聞くと円安ですごい金額になっている。世界はつながっているが、自分のいる場所の半径1.5キロ圏内に目を向けて、なるべくおせっかいを焼きながらいけたらよいと思う。男女共同参画やSDGsの考えがもう少し広がればよいと思うが、保護者会で実際にその話題が出るといぶかしがる人があるのも現実だ。男の子がピンクを選ぶと「男なのになぜピンクを選ぶのか。青もある」という40、50代の保護者がほとんどだ。その目線からスタートしてもらえるとよい。</p>
委員	<p>私自身、クアタラソさぬき津田についての事案は、悠々自適に暮らしている人が使う施設がなくなるから声を上げていると思っていたが違っていた。小中学校の統合やいろいろな施設がなくなりまちの勢いがなくなってきたので、生活ができなくなる恐怖もあるのかもしれないと思う。以前、病院が診療所になったが、地元の人には反対せず黙っていたようだ。しかし今回は主に女性が動き出し、1万人以上の署名を短時間で集めた。また、香川県が津田の松原に興味を持ち、整備しようとしている。大きなレジャー施設を作れば観光客を呼べるかもしれない。この機会に高齢者の福祉施設から大きく発展させて、まち自体を観光都市にすると、外から人を呼べるかもしれない。隣の東かがわ市では、いろいろな取組を始めている。さぬき市も、例えばクアタラソさぬき津田の跡地に防災の施設を兼ねた大きなものを建てるなどしてはどうか。さぬき市の企業が動いてくれれば、さぬき市に収入がある。ゼネコンに頼まずにさぬき市の建築会社がプロジェクトを組み、設計から全てやる。そういう観点で物事を見ていくのも大切だと思う。人を呼ぶことを本気で考えていかないといけないということを市民が知らないのだめだ。私自身、子や孫にも興味があるなら考えてみようと言っている。</p>
会長	<p>ありがとうございます。事務局は意見を参考にしながら作業を進めてください。続いて、議事（2）令和5年度事業報告について、議事（3）令和6年度事業予定について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><説明></p>
会長	<p>では、今の説明について、質問や意見はありませんか。</p>
委員	<p><質疑等なし></p>
会長	<p>ありがとうございました。次に、（4）その他について、事務局から何かありま</p>

事務局	<p>すか。</p> <p><説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降の推薦委員、公募委員についての連絡
会長	事務局から説明がありました。何か質問などはありませんか。
委員	<質疑なし>
会長	<p>本日の協議会はこれで終了です。最後に山下市民部長からあいさつをお願いします。</p> <p><市民部長あいさつ></p>
会長	<p>本日も活発な議論をありがとうございました。以上で、令和5年度第6回さぬき市男女共同参画推進協議会を閉会します。2年間にわたりお疲れ様でした。</p> <p style="text-align: center;">< 閉 会 > (16 ; 00)</p>